

エシカル消費に関する 消費者庁新未来創造戦略本部の取組

消費者庁新未来創造戦略本部次長

相本浩志

令和5年2月

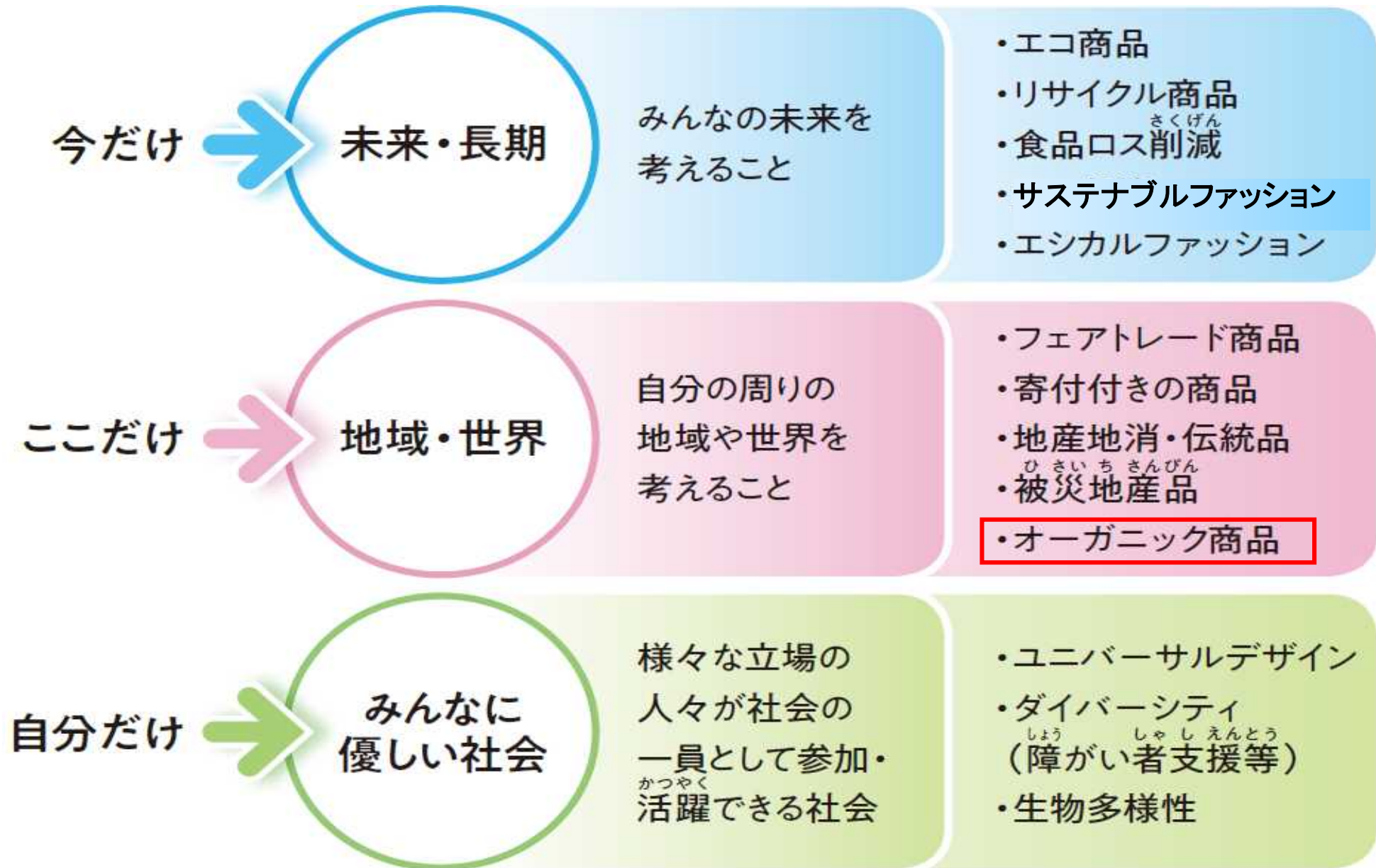


消費者ホットライン188
イメージキャラクター イヤヤン

エシカル消費とは？「今だけ」「ここだけ」「自分だけ」の消費行動からの脱却

「エシカル消費」とは、よりよい社会に向けた、人や社会、環境に配慮した消費行動のこと。

例えば、「今だけ」でなく「未来」のことも考え、「ここだけ」でなく「世界」のことも考え、「自分だけ」でなく「様々な立場の人々」のことも考えた消費行動が「エシカル消費」といえる。



エシカル消費を实践できる場面

商品・サービスを選択するとき

- ・ 誰がどこで作ったのか、お店までどのように運ばれてきたのか、地球環境に優しいか、人の暮らしを守って作られているかななどを調べて選ぶ



買物をするとき

- ・ 必要な人が他にもいることを想像し、必要な分だけを買う



買ったものを使う・処分するとき

- ・ 一度使用した後もシェアやリサイクルなどをする
- ・ 大切に長く使う



エシカル消費で応援できることの具体例

認証ラベルのある商品を選ぶ※



FSC®森林認証:
適切に管理された森林資源を使用した商品(紙製品など)



MSC認証:
海洋の自然環境や水産資源を守って獲られた水産物(シーフード)

**生物
多様性**

への配慮



RSPO認証:
環境への影響に配慮した持続可能なパーム油使用の商品(洗剤など)

被災地の産品を買う

被災地の特産品を消費することで経済復興を応援。



地域

への配慮

地元の産品を買う

地産地消によって地域活性化や輸送エネルギーを削減。

環境

への配慮

エコ商品を選ぶ

リサイクル素材を使ったものや資源保護等に関する認証がある商品を購入。

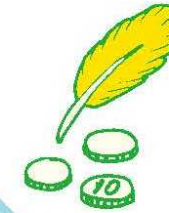


社会

への配慮

寄付付き商品を選ぶ

売上金の一部が寄付につながる商品。



フェアトレード商品を選ぶ

発展途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に取引された商品を。



人

への配慮

障がいがある人の支援につながる商品を選ぶ

働きたい障がいがある人を支援している事業者の商品。

エシカル消費って
つまり
何を買うか考えるときの
ひとつの尺度です

世界の未来を変えるのは、あなたの日々の消費です。

エシカル消費の普及啓発

【モデルプロジェクト等の概要】

徳島県内の小中学校等において、エシカル消費に関する教材を活用した授業を試験的に実施するとともに、活用事例の収集等を行い、エシカル消費の普及啓発を行う。

【これまでの主な取組・成果】

- ・エシカル消費に関する取組事例の取材（2019年度に39事例を随時公表）
- ・徳島県内で実施されたエシカル消費に関する取組事例集（2021年3月公表）
- ・サステナブルファッションに関するシンポジウム（2021年7月、12月、2022年3月に計3回開催）

問題意識・課題

- 全国を対象にした「令和4年度第3回消費生活意識調査」（2022年11月実施）によると、エシカル消費の認知度は26.9%であり、十分とは言えない

（参考）徳島県でのエシカル消費の認知度
26.4%（2017年度）→40.9%（2019年度）→53.9%（2021年度）

※ 徳島県における『倫理的消費（エシカル消費）』に関する消費者意識調査

⇒

より一層のエシカル消費の普及啓発のため、全国の小中学校等の学校現場におけるエシカル消費教育教材の活用が重要

実施する取組

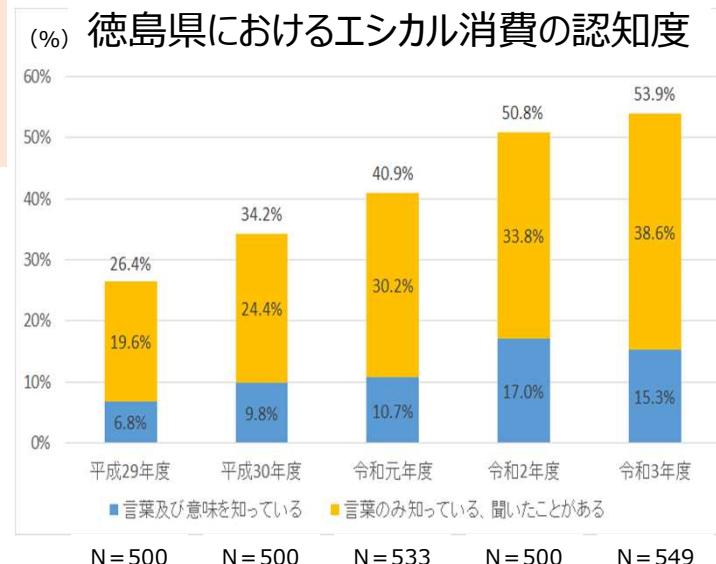
- 教材を活用した授業の現地調査、教員へのヒアリング、生徒へのアンケートを実施し、活用事例集を作成
- エシカル甲子園における大臣賞・長官賞授与

エシカル甲子園2022 大臣賞授与



成果イメージ・効果

- 教材を活用した実践事例集等の公表
- 若年層に向けたエシカル消費の普及啓発の全国展開



エシカル甲子園2022

(主催：徳島県教育委員会・徳島県、後援：消費者庁等)

- エシカル消費の推進に積極的に取り組んでいる高校生がエシカル消費に係る各自の取組について発表する場を設け、特に優れたものを表彰し、エシカル消費の推進に資する取組の機運を後押しする行事。
- 全国から応募のあった76校の中から予選審査を経た12校が本選（令和4年12月27日（火）開催）に出場。



受賞校		取組概要
内閣府特命担当大臣賞	宮城県農業高等学校	海洋ごみの原因となるプラスチックカプセルを使用しない肥料の開発に取り組んでいる。開発した新肥料を使用した稲の生育調査・検証を行い、新肥料の商品化を実現した。
消費者庁長官賞	愛媛県立大洲農業高等学校	大量廃棄されるバショウという植物を再利用した「芭蕉和紙」の果実袋を開発し、プラスチックごみとして廃棄される果実袋の削減やブドウの着色不良の改善に取り組んでいる。
徳島県知事賞	沖縄県立八重山高等学校	卒業生に不要となる制服を寄贈してもらい、新入生へ無償提供する制服リレーの仕組みにより、リユース意識の向上に繋がった。今年度は地域住民と連携して制服のリペアに挑んでいる。
徳島県議会議長賞	佐賀県立伊万里実業高等学校	アジの中骨やフードドライブ活動で集まった規格外食品を活用し、ビスケットやクッキーを製造するなど、地域と一体になって食品ロス削減プロジェクトに取り組んでいる。
徳島県教育委員会教育長賞	麗澤高等学校	フェアトレードコーヒーの販売活動を通してフェアトレードの普及を図るとともに、医療的ケアを必要としているこどもたちのための施設整備を支援するために、売上の一部を寄付した。
日本エシカル推進協議会会長賞	静岡県立富士特別支援学校	生徒が洗浄したペットボトルが身近な製品に生まれ変わることを学習し、自身の作業が社会のために役立つことを理解して、目的意識ややりがいを持って作業に取り組んでいる。
エシカル甲子園特別賞	徳島県立城東高等学校	世界的な課題の解決のため、インドネシアの高校生とともに、食品ロス削減やゼロ・ウェイストについての啓発授業を双方向で実施している。